



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和4年 6月号(増刊号)

ヨハネスブルグ日本人学校

寒さに負けず、体力の向上を!

晩秋6月を迎え、日々寒さが厳しくなる季節となりました。その中でも子供たちが休み時間に元気で外で遊び、互いに触れ合う姿が見られています。

子供たちの体力に目をやると、残念ながら明らかにかつての子供たちより低下しています。子供たちを取り巻く環境が絡み合って変化したことが挙げられています。これは、子供に大きな影響を及ぼす「3つの間」すなわち「仲間」「時間」「空間」が減少し、日常生活や運動やスポーツにおける身体活動自体が同じく減少したこと、いわゆる運動不足の状態にあることが原因であり、体力が低下したことで、ますます運動しなくなるという悪循環に陥っているとも言われています。安全面や時間的な制約がとて大きな南アフリカでの生活環境の中ですが、校庭や敷地内での朝マラソンや休み時間の外遊びを通し、体力をしっかりと向上させることの大切さを子どもに伝えているところです。

子供たちの体力向上のポイントは、「遊び」「食生活」「睡眠」の3つと捉えています。特に、「運動を伴った遊び」は、体と心の成長に欠かせない重要なものです。体を上手に動かす力は身体能力を高め、遊びの工夫を通して知性も高まり、仲間との思いやりや協調性は望ましい社会性を向上させると言われています。寒い中での日々のさりげない遊びを通した体力の向上を願うところです。

全校遠足 ヨハネスブルグ動物園に行ってきました

先月13日の金曜日に全校遠足としてヨハネスブルグ動物園に行ってきました。当日は、今年度初めての校外学習ということもあり、子供たちも朝から気持ちが高ぶっている様子でしたが、遠足の目的をしっかりと達成しようという意気込みも感じられました。

大変うれしいことに当日は天気に恵まれた中、予定通りの園内散策することができました。園内では、上級生がたてわり班のリーダーを担い、班ごとに協力し声を掛け合いながら園内を回っている微笑ましい姿があちらこちらで見られていました。ランチ後はお小遣いをつかって買い物をしましたが、特に小学部低学年の子供たちは、

自分の考えでお金を使うことができていました。まさに、生活科の実践の場となっていました。

この全校遠足は、事前の活動計画の積み重ねの上に成り立ちます。日本では観ることが難しい貴重な動物だけでなく、秋の自然に親しむ活動を充実させるため、事前の準備と指導を十分に行いました。学校の外に出て、地図を片手に、年下の子どもたちを連れて、広い公園の中のラリーポイントを探して歩く上級生の大変さもあります。下の学年の子供たちはこの体験でも大きな成長が窺え、一方、上級生は、大きな苦労はあったもののやりがいと達成感を十分に味わうことができました。

校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、日々の学校での学習内容がさらに充実し発展できる場が外国であることの意義はとても大きなものです。学年ごとに発行された学級通信には、子供たち同士、教員との触れ合いを通して、楽しい思い出がくれたことやお互いを思いやり、共に協力する大切さややりがいを感じたこともたくさん書かれていました。

日本では、保幼小連携や小中連携の重要性が叫ばれて久しいのですが、小規模でありながらも小中一貫校の側面ももっていることもJSJの長所といえます。

今後も国際交流の機会や校外学習の機会が予定されています。人や自然、文化との関わりを深めながら、互いの良さを認め合い、将来に役立つ社会性を着実に身に付けられるよう進めていきます。



ワンダーランド幼稚園 国際交流 I



先月5月27日にワンダーランド幼稚園を訪問し、第1回目となる国際交流を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年は交流を行うことができず、今回は実に3年ぶりの開催となりました。子供たちも教職員も誰一人として以前の交流に参加した経験がありませんでしたが、当日は自ら進んで園児に話しかけたり、一緒に遊んだりする姿をあちらこちらで目にすることができました。

1回目の遊び時間では、園内の遊具で一緒になって遊び、スナックタイムを挟んだ2回目の遊び時間では、事前に準備をした折り紙やけん玉、お手玉など、日本の伝統遊びを一緒に楽しみました。

特に中学部の子供たちは、幼稚園での職場体験の雰囲気もあり、最初は園児への話しかけや関わりに戸惑いも見られましたが、すぐに打ち解け、あっという間に仲良く交流する様子が見られました。

また、JSJ の出し物で披露したソーラン節も大好評で、日本の伝統的な踊りをとてもかっこよく感じたようで、最後は園児たちと一緒にみんなで踊るなど大変盛り上がりました。

日本人学校の良さは、小中学部併設の強みを生かして、日々の学校生活が子供たちの学年を超えた縦の繋がりの強さがあり、少人数を生かし個々の個性を認め合いながら対応できることなどがあります。



EC授業での外国語活動や英語で身に付けた会話力を実践する重要な機会と位置付け、この機会を最大限生かすために、3週間以上かけて準備をしてきました。

当日は、積極的に英語で発表したり、コミュニケーションをとろうとしたりする等、これまで準備してきたことを思う存分、発揮できていました。どの子も最初は緊張する様子が見られましたが、思い切ってやってみる、よく言われる「英語は度胸」の実践の場となっていました。終始笑顔で交流を楽しむことができた、とても素晴らしい一日となりました。

今後、国際交流の機会を予定しています。今回の経験を活かし、更に充実した交流になることを楽しみにしています。

今後、国際交流の機会を予定しています。今回の経験を活かし、更に充実した交流になることを楽しみにしています。

